

科目名		理学療法技術論Ⅳ（小児期疾患）			授業の種類	演習	講師名	
授業回数	15回	時間数	30時間	（1単位）	配当学年・時期	理学療法士科3年		必修・選択 必修
〔授業の目的・ねらい〕								
脳性まひを中心に小児理学療法について理解する。								
〔授業全体の内容の概要〕								
講義形式が中心ですが、ビデオ等により臨床像をイメージしたり、確認したりしたいと考えています。 場合によっては実技やグループでの討論を行いたいと思います。								
〔講師の実務経験〕								
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕								
脳性まひ児の理学療法を通して小児理学療法の考え方を理解する。 脳性まひの各タイプの特徴を理解する。 二分脊椎や筋ジストロフィー等の病態、疾患像を理解する								
回数	講義内容							
1	小児理学療法全般についての概論							
2	脳性まひ児に対するPT場面の紹介							
3	脳性まひについて							
4	脳性まひについて							
5	脳性まひの症状							
6	脳性まひの症状							
7	小児整形疾患について							
8	中枢神経疾患（筋ジストロフィー）について							
9	遺伝性疾患について							
10	理学療法アプローチの考え方							
11	理学療法アプローチの考え方							
12	評価と理学療法アプローチ							
13	評価と理学療法アプローチ							
14	小児理学療法実技							
15	小児理学療法（まとめ）							
	定期筆記試験							

【 準備学習・時間外学習 】

--

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
小児理学療法学テキスト 第3版	細田多穂	南江堂

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

筆記試験により評価します。
